

2024 年度

環境経営レポート

(対象：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)



発行日 2025 年 6 月 13 日 改定日 2025 年 7 月 14 日

株式会社GEOソリューションズ

目次

1. 組織の概要	3
2. 環境経営方針	7
3. 環境経営目標	8
4. 環境経営活動計画	9
5. 環境経営目標の実績	10
6. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画	12
7. 環境経営関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、起訴等の有無 ...	13
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	13
9. 小さな社内取組	14
10. 地域環境維持についての考察	15

1. 組織の概要

1-1 事業所名・所在地 株式会社GEOソリューションズ

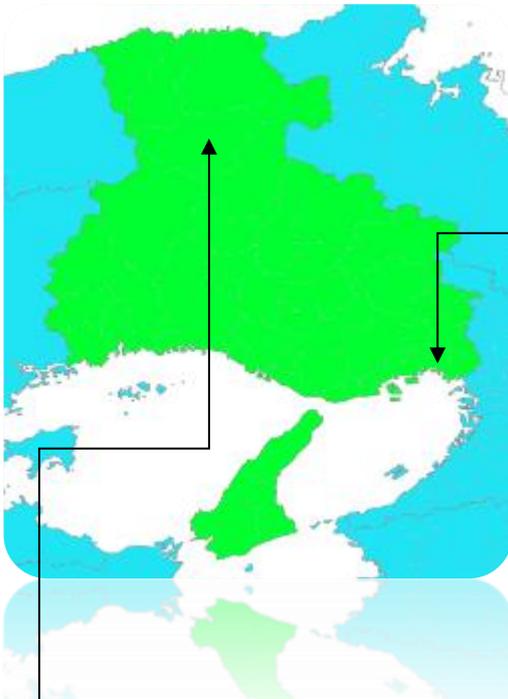
西宮本社 : 〒662-0971 兵庫県西宮市和上町 1-31 TEL0798-37-1280

養父技術所 : 〒667-0022 兵庫県養父市八鹿町上網場 270-6 TEL0796-63-2627

鳥取事業所 : 〒667-0022 鳥取県鳥取市賀露町南 3 丁目 3034 番地 1 TEL0857-50-1271

代表者 藤井達司

環境管理責任者 佐々木 藍子



西宮本社



鳥取事業所



養父技術所



株式会社GEOソリューションズ

1-2 事業の概要

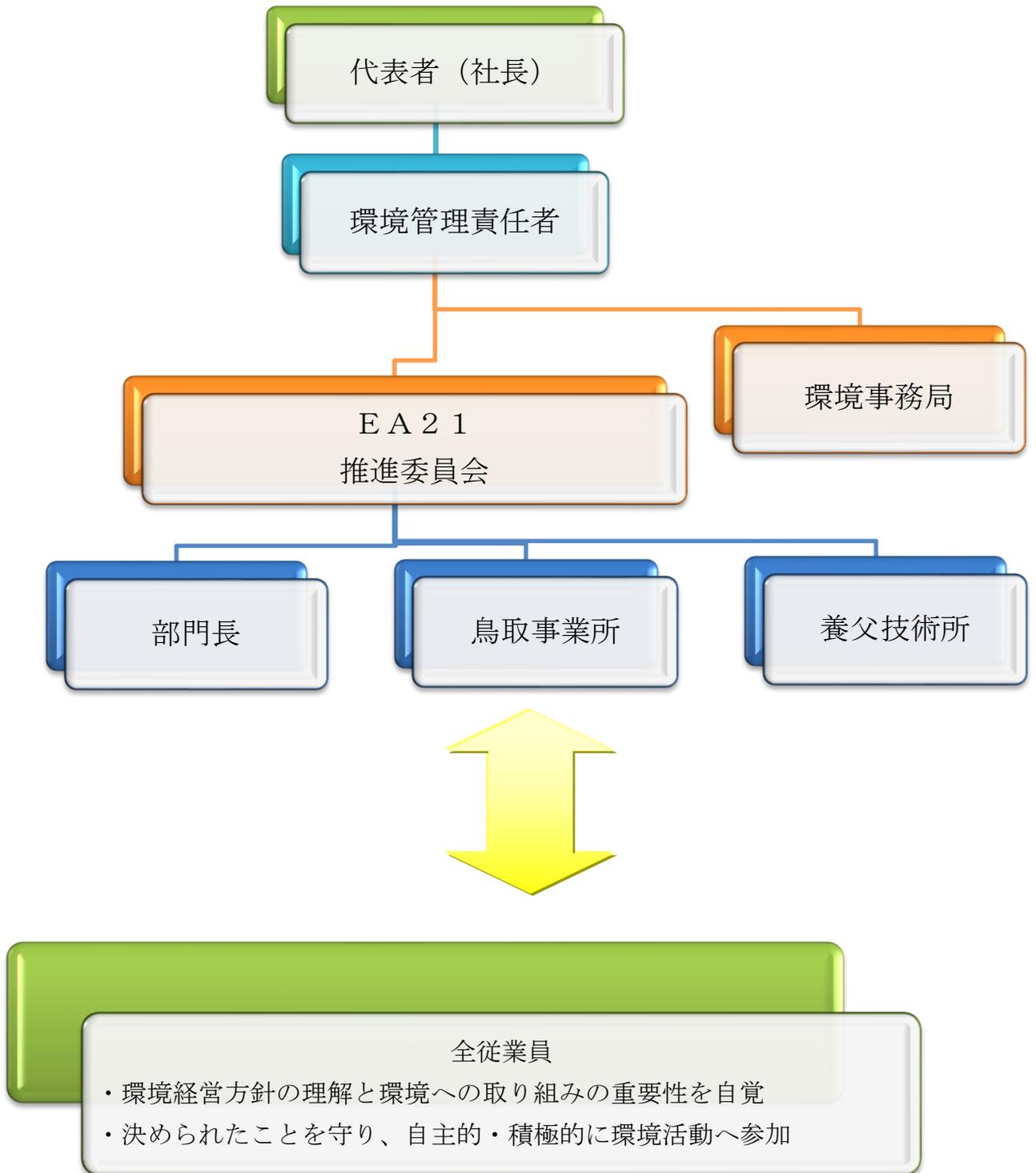
航空写真や衛星写真を利用し広域で指定された精度を担保した地理情報データの作成を中心とした測量業と、地理情報を作成するCADソフト・地図を閲覧・出力・加工・分析・解析を行うGISソフト開発まで、地図にまつわる全ての業務に必要な作業を行なっております。



1-3 事業規模等

活動規模	単位	18期	19期	20期
		2021/10~2022/9	2022/10~2023/9	2023/10~2024/9
売上高	百万円	670	785	705
従業員	人	64	80	84
床面積(本社)	m ²	582.93	582.93	582.93
床面積(養父)	m ²	264.79	264.79	264.79
床面積(鳥取)	m ²	-	-	104.4

1-4 組織体制図



役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認 ・経営資源を用意する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加

2. 環境経営方針

環境経営方針

【基本理念】

株式会社 GEO ソリューションズは、自然環境が現状から損なわれていく状況を課題とチャンスと捉え、微力ながらもくい止めるために貢献できることを考え、自然環境の維持に積極的に取り組みます。また、同時に生活環境の美化にも努め、環境経営の継続的改善を目指します。

【行動指針】

- ・ 使用電力の削減に努めます。
- ・ 環境対策・防災対策等の基礎資料となる精緻な地図作りに努めます。
- ・ 環境関連法規制や当社が約束した事を遵守します。

この環境経営方針は全ての従業員へ周知します。

制定日 2011年10月1日

改定日 2012年6月23日

改定日 2012年11月29日

改定日 2019年8月7日

代表取締役社長 藤井達司

3. 環境経営目標

基準を R1 年～R3 年度の平均とする。

なお、OA用紙の購入一般廃棄物の削減・製品への環境配慮は基準値を上回らないものとする。

	基準 (R1~R3 平均)	実績 R4 年度	実績 R5 年度	実績 R6 年度	計画目標 R7 年度以降
OA 用紙の購入削減	1.65t	2.15t	2.05t	2.28t	1.65t
電力の削減(養父)	20,447 kWh	21,001kWh	15,550 kWh	21,891kWh	20,447 kWh
電力の削減(鳥取)	29,797kwh	-	-	29,797kwh	29,797kwh
ガソリン環境効率指標 (L/百万)	4.16	5.63	6.31	8.28	4.16
一般廃棄物の削減	1.45t	1.41t	1.42t	1.43t	1.45t 以下
製品への環境配慮	4 件	1 件	12 件	1 件	0 件

	R4 年度	R5 年度	R6 年度
ガソリン(kg-CO2)	8,754	11,491	13,557
ガソリン使用量(L)	3773.58	4953.35	5843.58
売上高(百万円)	670	785	705
ガソリン環境効率指標 (L/百万)	5.63	6.31	8.28

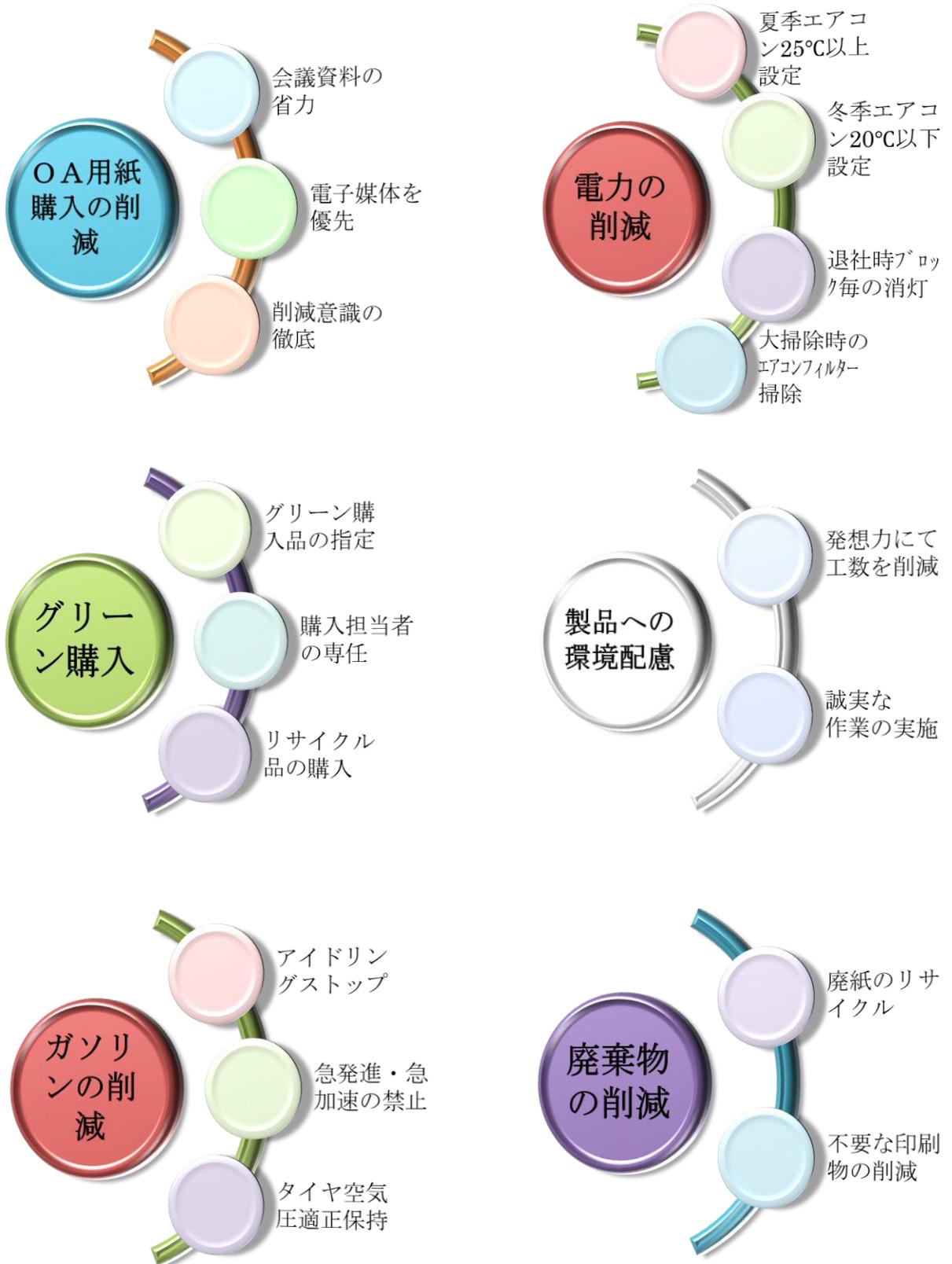
1) R2 年度の本社移転により、電気料金が賃貸料込みとなり計測不能となったが、変わらず節電を心掛け継続的な取り組みをしてゆく。

2) 本社、養父技術所、鳥取事業所と共に水使用量の削減についてはトイレの使用のみで量的に少ない。また、管理会社からの割り振りの報告で意味が無い。従って、目標としない。

3) ガソリンについては、使用量推移と環境効率指標を検討しており、ガソリン使用量/売上高を算出した。

4) 化学物質は使用していない。

4. 環境経営計画



5. 環境経営目標の実績

項 目	基準年度 (R1～R3 年度平均)	施行期間の目標 R6 年 4 月～ R7 年 3 月	施行期間の実績 R6 年 4 月～ R7 年 3 月	目標達成度	評 価
				削減実績	
電力の削減	養父 20,447 kWh	19,220kWh	21,891 kWh	93%	△
	(鳥取 29,797 kWh)	(29,797 kWh)	(29,797 kWh)	-	-
一般廃棄物の削減	西宮 約 1.27 t	約 1.26 t	約 1.22t	104%	○
	養父 約 0.18 t	約 0.18 t	約 0.2t	94%	△
	全社 約 1.45 t	約 1.45 t	約 1.43t	102%	○
OA 用紙購入の削減	西宮 1.56 t	1.56 t	2.15t	72%	×
	養父 0.06 t	0.06 t	0.08t	75%	×
	(鳥取 0.05 t)	(0.05 t)	(0.05 t)	-	-
	全社 1.62 t	1.62 t	2.23t	72%	×
製品への環境配慮 クレーム件数 0 件	4 件	0 件	1 件		×

目標達成率 100%以上を○、100%未満 90%以上を△、90%未満を×と評価。クレーム件数については0件でなければ×。

OA 用紙は仕事量増加によるものであり、是正はしない。

鳥取は開設初年度であるため、実績把握のみ行い、基準年度には R6 年度実績を記載。

【参考】

2021 年度 関西電力の二酸化炭素調整後排出係数：0.311kg-CO₂/kWh中国電力の二酸化炭素調整後排出係数：0.511kg-CO₂/kWh

	西 宮	養 父	鳥取	全 社
対象期間の目標	-	6,359kg-CO ₂	-	-
対象期間の実績	-	6,808.10kg-CO ₂	15,226.27 kg-CO ₂	-
ガソリン	12,840.24kg-CO ₂ (5,534.59 L)	408.95kg-CO ₂ (176.27 L)	307.91 kg-CO ₂ (132.72 L)	13,557.10 kg-CO ₂ (5,843.58 L)

- 1) 電 力 : 西宮本社は移転の為、電力が管理会社負担となり算出しておりませんが、LED工事、エアコンの買い替えを行い、電気量に対して省エネ対策となっており、二酸化炭素排出量的には有効に働いていると考えております。その他の内容については前年度同様に進めていきます。
- 2) 廃 棄 物 : 計測は続行しておりますが、結果的にもあまり影響のない項目です。大きな意味では照明のLED化に伴い、交換サイクルが圧倒的に伸びるとの事ですので、このあたりでもLED効果があると考えております。
- 3) OA用紙購入 : 物件によって用紙の量は大きく依存するので、年度事の推移にはあまり注力する必要はないと考えております。ただ、例年の節約意識は浸透しているのでこのまま進めていく事としております。
- 4) クレーム件数 : クレーム件数は1件でした。クレーム件数が12→1と減少いたしましたが、クレームゼロを目指し基礎理解力の向上、目視を中心とする検査の充実し意識づける事を続けてゆきます。
- 5) 自動車燃料 : 自動車燃料(ガソリン)の削減については走行距離等が大きく、これは営業活動の充実や、打合せ場所・作業現場の距離により大きく影響を受ける項目であり、案件受注の増加と共に使用量増となるため、売上高と自動車燃料排出量の環境効率指標を算出し、今後の方向性を検討いたします。営業活動時は効率的顧客訪問を計画実施し、そしてエコドライブを運転する従業員全員に周知し、講習等を行っております。

6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

目標項目	取組	取組状況	評価コメント
電力の削減	部門毎に全員退社時点で完全消灯	○	退社時の完全消灯・PCのシャットダウンは日常化できている。エアコンについても、業務の効率を良いものにする為見直した効果があった。エアコンの最新化により電力の消費を控えられた。照明のLED化が大きな成果を上げる取り組みである。
	退社時のパソコン電源OFF	○	
	夏季エアコン 25℃	○	
	冬季エアコン 20℃	○	
	エアコン使用時の換気扇・窓の開は2hに1回5分以内	○	
	フィルターの掃除(年2回)	○	
一般廃棄物の削減	分別の徹底	○	大きな廃棄物を出す製造業でないため問題ないと考えている。
	廃紙のリサイクル化	○	
	不要な印刷物の削減	○	
OA用紙購入の削減	使用量削減意識の徹底	○	紙の使用量自体は物件量や物件の質に依存するため、比較できない部分があり、削減意識は浸透しているため、問題ないと考えております。
	印刷前の枚数大きさ確認	○	
	FAX用紙裏紙使用	○	
	会議資料の削減	○	
	極力電子媒体に記録する	○	
車両燃料の節減	アイドリングストップ	○	営業車はハイブリットに変更してリースしている。
	急発進急加速の禁止	○	
	タイヤ空気圧適正保持	○	
製品への環境配慮	誠実な作業と的確な業務内容	○	今回のクレーム件数は、基礎能力の向上、単純確認の洩れ、新規物件の弱さの露呈であり、教育を進めて行く。
	発想力にて工数を削減する	×	

次年度以降の環境経営目標及び環境経営計画

- ・ R7年度以降の環境経営目標については R6年度の目標を維持することとする。
 - ・ 環境経営計画についても R6年度をそのまま実行する。
 - ・ 弊社の業態で最もエコに貢献できる製品作成時間の短縮・効率化が、クレームによって損なわれる結果となっております。こちらの対応を徹底的に進めます。
- (4. 環境経営計画を参照ください。)

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、起訴等の有無

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況評価
廃棄物処理法	一廃収集業者の許可の確認	○
消防法	火災の予防	○
地球温暖化対策法	温室効果ガス排出抑制	○

※過去に環境法規の違反・起訴はありません。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

8. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

○環境経営方針

弊社の業務である航空写真測量およびシステム開発は、直接的に環境へ負荷を与える工程は少ないものの、間接的に環境維持に寄与できる余地はあります。照明の LED 化やアイドリングストップの徹底、グリーン商品の積極的な購入といった業務環境の見直しを継続するとともに、環境保全に取り組む団体の支援や、自然を学ぶ活動への参加を通じて、社員一人ひとりが環境維持の意義を理解しやすい体制づくりを推進してまいります。

○環境経営目標

日常生活や業務において、誰もが自然と環境維持に配慮した行動がとれる意識を高め、社内全体で以下のような習慣を根づかせることを目指します。

エコバッグの利用や製品選定時における環境配慮(例:紙パッケージ製品の選択)を自然な行動とする
 オフィスでの電力節約やペーパーレス化への意識を共有し、実践につなげる
 環境保全や自然理解に関する社内共有・啓発活動を1回以上実施する

○環境経営計画

項目 内容 実施予定

1. 社内設備の省エネ化 — オフィス内照明の LED 更新、パソコン・空調機器の節電徹底 — 通年
2. 意識づけ・啓発 — グリーン商品の紹介・共有、エコ活動の事例共有 — 社内報・掲示などで随時
3. 先進技術による業務効率化 — 無人機(ドローン)・ICT・センサー技術を組み合わせ、点検工程の削減や無駄の排除を目指す研究開発を継続 — 通年
4. 水素等エネルギー技術の注視 — 水素ドローンの可能性検討・実証事例の調査と記録 — 年1回報告整理
5. 産学連携・外部協力の推進 — 大学や他業種企業との共同研究・補助金応募の検討 — 必要に応じて随時

○実施体制その他

変更の必要性無し。

株式会社 GEOソリューションズ

代表取締役社長 藤井 達司

9. 小さな社内取組

養父技術所は360°山に囲まれ、横には円山川が流れる環境で緑豊かな環境です、本社をおく西宮市も少しでも環境が良くなるように、社内やベランダに少しでも緑を置いて育てております。本当に大事に育てておりますので『幸福の木』においては花が咲くくらいです。他の草木も針金のような細い株を購入しているのですが、購入時の事が想像つかないくらい大きく育てております。

(花の咲いた幸福の木)



(ぐんぐん成長する草木)



また、小さなものですが自然に帰らないゴミもありますので、週の始まりは会社の周辺に関して清掃活動を行なっております。



10. 地域環境維持についての考察

私たちが本社をおく西宮市も40年程前は、環境等あまりふれられる事も無く、工場と遊技場が多く立ち並び、現在よりも空も海も川も汚く、公害を絵に描いたような灰色の環境でした。現在はマンションや公園で構成される公害の少ない環境になりましたが、この周辺では空き地も無くなりカマキリやバッタは見る機会は少なくなりました。

下記の写真は西宮市の市街地近辺で生存している身近な昆虫たちです。特に綺麗な昆虫を掲載しておりますが、まだまだ沢山の綺麗な昆虫が生存しております。残念なことに、数年前から見なくなったものもあります。どんどん人間の創造により生存できる生物が減少しております。こういった地球の仲間たちを少しでも守りながら企業は経済活動を行なう時代だと思います。我々も未来を見つめて少しでも地球環境に熟慮をしなければならないと痛感しております。

(毎年見られる昆虫たち)



(数年見られなくなった昆虫たち)



(このハンミョウは突然変異色?)



<http://www.geo-sol.co.jp>